

報告第2号 こいこいバス新型車両お披露目について

1 経緯

令和7年2月19日に開催した令和6年度大竹市地域公共交通活性化協議会において、報告第2号「こいこいバスの新型車両について」の中で、単なる同型車両の更新であり、真新しさに欠ける、デザインも現行車両とあまり変化がないという理由から、特別なセレモニーは行わない。ただし、プレス向けに公開の場を設ける、という方針を決定した旨を報告した。

しかし、内部で検討を進める中で、セレモニーを実施すべきではないかという意見が多く出たことから、再度内部で調整を行った結果、お披露目を実施することとした。

2 内容

令和8年1月30日（金）午前11時よりお披露目実施。入山市長あいさつの後、こいこいバス新型車両のお披露目を行った。概ね100人近く集まり、大きな盛り上がりを見せた。

※中国新聞デジタルより

大竹駅と玖波駅を結ぶ「こいこいバス」2台が一新

2026/2/9 (最終更新: 2026/2/16) 有料記事

広島県大竹市は、JR大竹駅と玖波駅を結ぶ「こいこいバス」の車両2台を一新し、今月から利用を始めた。市のPRキャラクター「コイちゃん」をあしらい、地域の魅力をアピールするデザインとなっている。

2012年以来14年ぶりの車両リニューアル。運転手を含めて33人乗りで、オレンジ色の車体に特産和紙の手すきや獅子舞に取り組んだり、晴海臨海公園で遊んだりするコイちゃんの愛らしい姿が描かれている。「ICOCA（イコカ）」など、交通系ICカードも利用できる。約6千万円かけて更新した。

1月30日に市役所駐車場であったお披露目会には、地元の子どもたちも参加。小方認定こども園の年長三分一（さんぶいち）瑠華ちゃん（6）は「バスが走っているところをママに見せたい」と笑顔だった。（菊本孟）



お披露目会で、一新したこいこいバスの車両を見る風児たち